

(仮称)熱海フォーラム整備事業

3つのコンセプト

豊かな暮らしの創造

- どのようなまちづくりを目指し、施設はどう寄与していくか
- まちの価値や市民の生活をどう高めていくか

市民参画・「市民が集う場」づくり

- 一年を通じて市民が集う場所
- 多様な活動を念頭に置いた汎用性の高さ
- 企画・運営への市民の関わり

持続的に運営可能な施設

- 子ども達の世代でも無理なく運営できる施設
- 公民連携

主な機能

図書館、歴史・文化

- 新しい時代に求められた市民の利用頻度の高い空間づくり
- 歴史や文化の保存、継承、発信。学びの場の提供等

市民ホール、会議室等

- 市民の活動の場づくり
- 公共的なスペースの再編、共有化等。

民間機能

- 市民の利便性向上
- まちの構造的課題の解消、収入確保等

《スケジュール》 H26年度 基本構想・計画
H27年度 基本設計
H28-29年度 実施設計 建設工事
⇒H29年度中に供用開始

参考データ

人口構造

- 生産年齢人口の減少（H22国勢調査）
H17年23,785人→H22年21,103人
⇒5年間で2,682人減少
- 転入・転出による人口増減（同上。H17-H22）
20代▲77人、30代▲90人
40代+167人、50代+314人
60代+704人、70代+377人
- 働く場所が熱海で、熱海に住んでいない人=流入就業者数6,510人(流出就業者数3,851人)
- 人口推計(国立社会保障・人口問題研究所)
■2010年約4万人→**2040年約2.2万人**
⇒43.2%(約1.7万人)減少
■高齢化率53.5%

公共施設マネジメント

- 公共施設マネジメントの視点
 - 1.総量や状態【ストック】
 - 2.毎年の運営や維持費用【コスト】
 - 3.利用や活用の状況【サービス】
- 熱海市の保有する建物(H25年度調査時点)
■計21.6万㎡(教育施設35.4%、市営住宅31.7%)
■旧耐震基準建物52.1%
■人口一人あたりの保有面積
熱海市 5.5㎡
県内市平均 2.9㎡、全国平均 3.4㎡
- 市営住宅(H24.2ストック計画)
■市営住宅比率6.2%→県他都市の2倍以上
■約90%がS34～55年に建築されたもの

図書館

- H19.8現在地に移転
■床面積 2535.16㎡
■蔵書数 19万1千冊
(うち 開架12万6千冊)
- 運営経費 総額1億1,703万円
うち 人件費 5,795万円(50%)
賃借料 2,737万円(23%)
- 利用状況(H24年度)
■貸出利用者数 41,698人
(一人あたり2,810円)
■貸出冊数 13万8,252冊
(一冊あたり846円)
- 参考
■伊東市蔵書数 18万380冊

市税収入・投資余力

- 施設の運営に関する経営資源
市税収入額:10年で18.4億円減少
H14年度116.3億円→H24年度97.9億円
■現役世代などの人口減少(個人市民税)
■経年による建築物価値漸減(固定資産税)
- 施設の建設に関する経営資源
■基金残高 **H24年度28.5億円**
(うち財政基金12.4億円)
■下水道事業会計からの償還金
H26年度から8年間で**22.5億円の償還金**
■起債残高 H24年度164.4億円
公債費H24年度22.4億円
H26年度以降償還が進む見通し

市民ホール

- 旧観光会館の直近の利用
(H18～22)
利用回数 年56～106件
300人以上の利用:年1～3回
5年で8回
稼働率(H18-H19) 23.9%
- 参考:運営にかかる指定管理料
■伊東市観光会館
本・別館5,422㎡
管理料 年間 約4,600万円
■三島市民文化会館 9,558㎡
管理料 年間 約1億円

上宿町用地

- 基本的事項
■3,103.72㎡
(上宿町787-1他)
■商業地域
(一部近隣商業地域)
■建蔽率80%
■容積率400%
■高度地区第2種(31m)
■3億7,500万円で取得